

10月28日(土)明和ショップラザ2Fで行われた

「小・中一貫校化の動きに対し住民の意見を表明する会」は、意義ある集いとなりました！

はじめに川野恭司さん（元中学校教諭）の講演、つづいて活発な意見交流が行われました（60名参加）。現場の先生がたも20名ほど参加されていましたが、小・中一貫校の教育経験のある方から「子どもや教師たちがいかに大変な思いをしているか」という話もあり、問題点の認識を深めることができました。一貫校になれば先生方は数を減らされて負担が増し、子どもたち一人ひとりに接することがいっそう難しくなる、校庭や体育館、保健室、図書室などが一つになつて活動スペースはきゅうくつなものになるのです。こんな中で子どもたちは、のびのびと学び育つていけるでしょうか。

「明和小・中一貫校化」の目的は市の教育費を減らすこと。
明和で認めれば他の学校（校区）でもすすめられていく。

以上のことが話しあいの中で浮かび上がってきました。けれども「明和まちづくり協議会」は、このような問題をはらむ「明和小中一貫校化」の要望書を、地域において丁寧な説明や交流の場を十分設けないまま、市教育委員会に提出したのです。それを市教委が受けとめて進めようとしていることにも疑問や不信がよせられました。

わたしたちは、このまま明和小・中一貫校化を認めるわけにはいきません。だまって成り行きにまかせれば一貫校化は進められてしまいます。そこで、私たちは市教委と市議会に慎重審議を求める「陳情書」を提出し、「明和小学校・明和中学校はこれまでどおり存続させ、子どもたちが生き生き学び育つ学校とまちづくりを進める」ための「署名」にとり組むことにしました。

12月2日(土)10時半～11時半

一人一人の力がたいせつです。明和ショップラザ2F会議室A
署名を増やしていくため、集まりましょう。
そして今後の進め方なども話しあいましょう。お待ちしています。

